



小中一貫校準備会議だより

第4号 (2014年11月 生駒市教育委員会)



11月12日(水)に行われた第4回小中一貫校準備会議は、8月末にプロポーザルによって決定した株式会社教育施設研究所の担当者による基本設計案の説明が行われました。



【こんな学校に】

- ・子どもが使いやすい学校 ・環境に配慮したエコスクール
- ・地域の景観に合う学校 ・地域の防災拠点としての学校
- ・地域の方が使いやすい学校



基本設計図は生駒市ホームページからダウンロードしてご覧ください。主な設計の内容です。

- ・北門と東門、遊具やビオトープがある低学年の活動広場(低学年用運動場)が見える1階東部分に職員室を配置しました。
- ・2階と3階は南側に普通教室、北側に特別教室を、図書室とPC室は2階東側に配置しました。
- ・校舎の中央は中庭で2.3階は吹き抜けにし、自然採光、自然換気になるよう配慮しました。また、太陽光発電や雨水の利用など環境にやさしい校舎です。
- ・2・3階には廊下部分に教材や作品を展示できるメディアスペース、習熟度別授業や個別指導ができるオープンスペース、教室には少人数指導ができる間仕切り等、学習環境を整えました。

高山らしさはどこにあらわれているのでしょうか。

→屋根のこう配は学校周辺の家のこう配に合わせています。景観を大事にし、学校から見える景色が子どもたちの心に残り、大きくなっても高山が大好きな子どもになるよう考えました。また、高山らしさを象徴する茶道が体験できるよう、多目的室に可動式の畳を設置する予定です。

体育施設はどうなるのでしょうか。部活動は今と同じようにできるのでしょうか。

→運動場は成形で、野球のグラウンド、陸上100m直線コースと200mトラック、サッカーコートも取れるグラウンドとし、小学生も入れる深さに工夫したプールも整備する予定です。

育友会活動や地域の方が利用できるスペースはあるのでしょうか。

→1階には200人収容の多目的室と調理室、相談室や会議室、倉庫を配置し、地域やPTAの方も使えるようにしています。

今後の予定 (生駒市ホームページに詳しい資料を載せています。)

来年(平成27年)の夏休みに北中が北小敷地に引っ越しします。それから4か月かけて北中校舎を解体し、そのあと1年間かけて、新築工事をします。新校舎への引っ越しは平成29年3月末の春休み。そして、平成29年4月、新校舎で小中一貫校が開校します。

次の会議は12月中旬の予定です。

生駒市ホームページには議事録や資料を掲載しております。

小中一貫教育のページは次のとおりです。

<http://www.city.ikoma.lg.jp/kashitsu/15200/03/01.html>

